

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

3-8

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	文化財等保存修理
節			
事業(施策)名	8 重要文化財の修理・整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○国重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」の保存活用計画や調査研究に基づく国重要文化財の修理や整備事業を推進し、構成資産の適切な保全を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った修理・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な修理や整備を行う。</p>		
R元 事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●重要文化財となっている大立堅坑櫓、高任粗砕場において、修理工事を実施する。 ●各種調査成果等をもとに、持続可能な事業計画となるよう、工事内容の見直しを図る。 <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●修理工事に伴い大立堅坑櫓周辺の地質調査や同捲揚機室の漏水対策事業、高任粗砕場の工事に伴う設計のほか、高任粗砕場の内部木部造作等の解体工事、内部足場設置工事を実施した。 ●調査成果に基づき、工事計画の見直しを行った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■最新の研究成果や他自治体の事例、専門家の指導内容を常に考慮しながら、修理・整備計画を更新する必要がある。 ■指定物件の劣化・破損状況により、修理期間の長期化や予算規模が増加する傾向にある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大立地区の仮設材設置工事、高任粗砕場の足場設置工事を実施する。 ■今後、工事に伴う調査結果や収集した情報等をもとに、修理や活用に係る整備計画の更新を検討する。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a ● b ● c]</p> <p>◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a ● b ● c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A ● B ● C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。